

プロジェクト名：ジンバブエ国草の根無償資金協力外部調査

(調査期間：1999年2月～1カ月、担当業務：現地 NGO 活動状況調査ならびに案件発掘)

調査背景

在ジンバブエ日本国大使館は、ジンバブエにおける草の根無償資金協力の実施にあたり、援助をより効果的・効率的に行い、援助の質を向上させるための事前調査を国際耕種に委託した。調査事項は、農業開発に重点を置いている現地 NGO の活動状況の把握ならびに草の根無償資金協力に関する援助対象団体の案件発掘を行うことであった。その際、案件実施の可能性、妥当性、投資効果に関しても可能な範囲内で評価、検討することとした。

調査概要

既存情報やア降るか日本協議会での聞き取り調査を基に、住民参加、適正技術、小規模、持続可能性をキーワードにして現地 NGO の活動実態調査を実施した。現地ではパーマカルチャーの実践や普及に取り組むネットワーク型 NGO から推薦された NGO を対象として概要を調査し、選定した4つの NGO について詳細活動状況の把握に係る調査を実施した。さらに、各団体の地域における農業生産活動とのつながりを十分に把握すると同時に直接的な協議を行い、実施可能な案件の具体例を策定した。

担当事項

- 農業開発に重点を置いている現地 NGO の洗い出しおよび優良団体の絞り込み。
- 絞り込んだ団体に関する活動目的、設立過程、組織形態、活動内容、他組織との連携等の調査。
- 各団体の特色や活動地域の状況を考慮した実施可能な案件の具体例の策定。
- 草の根無償資金協力の目指す方向性の検討。



堆厩肥の利用 (Zvishavane Water Project)



植林用苗木生産 (Zimbabwe Womens Bureau)



乾期の水の確保 (Zvishavane Water Project)



ウォーターハーベスティング (Zimbabwe Womens Bureau)